

拡充	スマートウエルネスシティ推進業務 〔予算額 3,813千円〕	保健部健康増進課 健康増進係(23 - 6639)
財源内訳	国庫支出金 275千円、県支出金 199千円、一般財源 3,339千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費 / 講師等報償金 39千円、委員報償金 120千円、特別旅費 170千円、消耗品費 115千円、食糧費 3千円、印刷製本費 173千円、通信運搬費 2,376千円、生活習慣病対策委託料 550千円、講座開催委託料 217千円、スマートウエルネスコミュニティ協議会負担金 50千円	

新たな仕掛けで「歩いて健康」「食べて健康」の健康づくりを充実していきます。

岡崎市版クアオルト健康ウォーキングの実施や、健幸アンバサダー養成講座の実施による健康づくり人材の活動支援を充実させ、健康無関心層が無関心なまま健康になれるまち、スマートウエルネスシティを推進します。

岡崎市版クアオルト健康ウォーキングの実施

クアオルト®健康ウォーキングを中心市街地や中山間地域で展開するクアの道の整備(看板設置等) 指導者の育成を行い、個人の体力に合わせた運動強度で、安全に効果的なウォーキングを実施する

※クアオルト®健康ウォーキング

ドイツのクアオルト(健康保養地)で行われる気候地療法®を基にした、心身の健康づくりのためのウォーキング



新規

ウォーキングアプリを活用した歩く健康づくりの取組

拡充

マイレージ事業と連携したウォーキングアプリを使い、楽しく歩数ポイントを増やす

- ・イベント等でアプリを使ってウォークラリーを行う
- ・推奨ウォーキングルート歩いてポイントを貯めるなど



企業参加の促進により
地元企業の
健康経営を後押し



市民誰もが健やかで
幸せに暮らせる、
持続可能な健幸都市
「岡崎」の実現

健幸アンバサダーの養成

新規

地域で健康づくりのお手伝いをしている健康推進員に健幸アンバサダー養成講座を実施し、口コミ効果を活用することで市民へ健幸を広める健康づくり人材の活動支援を充実

健幸アンバサダー = 身近な市民の立場で健康に関する知識を伝える人



ヘルシーメニューの推進

拡充

やさいの日(8月31日) 9月の健康増進普及月間に実施する「野菜を食べよう大作戦」の充実

- ・協力店舗：令和元年度 64 店舗 令和2年度 70 店舗(予定)
- ・やさいの日や健康増進普及月間における協力店舗での啓発強化



拡充	予防接種業務(予算額 1,340,910千円)	保健部生活衛生課 感染症対策係(23 - 6714)
財源内訳	国庫支出金 27,429千円、県支出金 6,941千円、一般財源 1,306,540千円	
支出内訳	4款1項3目 予防対策費 / 委員報酬 16千円、特別旅費 47千円、消耗品費 509千円、印刷製本費 1,462千円、通信運搬費 1,914千円、広告料 100千円、賠償補償保険料 855千円、審査支払手数料 3,095千円、四種混合等予防接種委託料 183,530千円、ポリオ予防接種委託料 406千円、小児用麻疹風しん予防接種委託料 79,988千円、日本脳炎予防接種委託料 125,271千円、BCG予防接種委託料 28,442千円、子宮頸がん予防接種委託料 2,489千円、ヒブ予防接種委託料 131,846千円、小児用肺炎球菌予防接種委託料 175,604千円、インフルエンザ予防接種委託料 233,881千円、高齢者肺炎球菌予防接種委託料 28,406千円、水痘予防接種委託料 69,551千円、ロタ予防接種委託料 66,005千円、B型肝炎予防接種委託料 78,229千円、おたふくかぜ予防接種委託料 7,209千円、成人風しん予防対策事業委託料 65,235千円、予防接種事務委託料 26,426千円、予防接種予診委託料 53千円、通知書印字封入封緘委託料 5,554千円、住民健康管理システム保守委託料 1,120千円、住民健康管理システム改修委託料 6,638千円、予防接種研修会開催委託料 463千円、風しん予防対策事業費補助金 590千円、麻疹予防対策事業費補助金 1,000千円、予防接種扶助費 4,873千円、特別の理由による再接種扶助費 821千円、予防接種健康被害者対策費 9,282千円	

「定期予防接種」の全て、「任意予防接種」の一部について、岡崎市医師会等に委託し実施します。
 定期の予防接種による健康被害のうち厚生労働大臣が認めたものについて、医療費や年金等の給付を行います。



制度変更

ロタ予防接種事業(66,005 千円)

乳幼児の急性胃腸炎を引き起こし、時に入院治療を要するロタウイルスのワクチンについて、市では平成 28 年 8 月から任意接種の助成を開始していましたが、令和 2 年 10 月から定期接種化されることになりました。

対象者：令和 2 年 8 月生まれ以降の乳児

接種時期：生後 2 か月から

自己負担：無料

実施方法：対象者には接種時期近くに接種券を個別送付します。協力医療機関に予約し接種してください。

新規

麻疹予防対策事業(1,000 千円)

麻疹は抗体のない者が感染するとほぼ 100%発症し、まれに急性脳炎などを発症し後遺症を残すことがあります。有効な予防方法はワクチン接種であり、その接種にかかる費用を助成します。

対象者：麻疹に対する免疫が十分でないかた

助成額：予防接種費用の 1/2 (上限 5,000 円)

助成方法：対象者は自己負担で麻疹の抗体検査を受け、麻疹に対する免疫が十分でないと判断される検査結果であった場合に予防接種を受けます。接種後の手続きにより市から助成額が支払われます。

拡充	救急医療体制運営補助業務 〔予算額 170,953千円〕	保健部保健企画課 医務指導係(23 - 6695)
財源内訳	諸収入 22,127千円、一般財源 148,826千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費 / 救急医療体制運営費補助金 170,953千円	

夜間・休日における第1次及び第2次救急医療を確保するため、一般社団法人岡崎市医師会及び一般社団法人岡崎歯科医師会が行う救急医療事業に対し、運営費の一部を補助します。

【支援内容】

救急医療体制運営費補助金

藤田医科大学岡崎医療センターの開院に伴い、24時間・365日対応できる第2次救急医療体制が確保されます。

これにより夜間・休日の救急医療体制は、実情に応じ、かつ機動的な救急医療を展開します。



藤田医科大学岡崎医療センター完成図(令和2年4月開院)

拡充	成年後見支援センター運営業務 〔予算額 29,226千円〕	福祉部地域福祉課 総務施策係(23 - 6922)
財源内訳	国庫支出金 29千円、県支出金 14千円、一般財源 29,183千円	
支出内訳	3款1項1目 社会福祉総務費 / 成年後見支援センター事業委託料 29,226千円	

【事業概要】

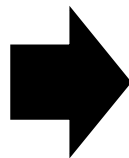
成年後見制度の普及や相談業務、親族後見人の支援などを行う成年後見支援センターの運営と法人後見受任に関する体制整備を図る。

【対象】

判断能力が不十分な認知症高齢者や障がいのある方など、成年後見制度の利用が必要な方やその家族、関係者等

【事業内容】

- ・成年後見制度に関する相談や申立て方法の案内、専門関係機関の紹介など成年後見制度の利用について支援を行います。
- ・既に後見人として活動されている方や、これから後見人になろうとする方などに対して、研修会や情報交換を行います。
- ・相談から支援までの全般的な支援を行うとともに、法人後見の受任のほか、将来的に市民後見人の育成を目指します。
- ・認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者に対する福祉サービスの利用支援を行います。(日常生活自立支援事業)
- ・成年後見支援センターへの相談件数の増加に対応するため、センター職員の増員を行います。



**職員の増員
相談体制の強化**



新規	重症心身障がい者支援業務 (予算額 3,007千円)	福祉部障がい福祉課 施策係(23-6163)
財源内訳	一般財源 3,007千円	
支出内訳	3款1項3目 障がい者福祉費 / 重症心身障がい者支援助成金 3,007千円	

医療的ケアを必要とする障がい者及び受け入れる事業所の支援のため、市独自の助成を実施します。

市独自の看護職員等配置加算の実施

○ 国の制度として実施している給付費の加算

生活介護サービスを実施する事業者が、看護職員等を配置した場合に給付費の加算を実施
現在の国の制度による加算は、2人目の配置まで

○ 市独自の制度として、4人までの看護職員等の配置に対し、加算を実施します

生活介護サービスを実施する事業者が、医療的ケアを必要とする障がい者を受け入れ、入浴サービスを実施し、看護職員等を配置した場合、3人目、4人目の配置に対する加算を新たに実施



加算額の計算例(利用定員20人、1日利用者数18人を想定)

< 3人目配置の加算 >

1日	290円 × 18人	5,220円
1月	5,220円 × 24日	125,280円
1年	125,280円 × 12月	1,503,360円

< 4人目配置の加算 >

1日	580円 × 18人	10,440円
1月	10,440円 × 24日	250,560円
1年	250,560円 × 12月	3,006,720円



拡充	高齢者見守り支援業務 〔予算額 946千円〕	福祉部長寿課 予防係(23 - 6837)
財源内訳	一般財源 946千円	
支出内訳	3款2項2目 老人福祉費 / 消耗品費 149千円、賠償責任保険料 797千円	

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します。

新たな取組

認知症高齢者等の不測の事態に備えるため、
賠償責任保険料の支援を行います。
(全額市費負担)



対象

認知症高齢者事前登録者のうち、介護保険認定を受けているかた（利用者負担の割合が1割、2割のかた）

認知症高齢者事前登録者とは、ひとりで外出して行方不明になった認知症高齢者等ができるだけ早く発見されるために、事前に市に登録をいただいた認知症のかたです。

賠償責任保険の内容

内 容	・国内外での日常生活における偶然な事故により、他人を死傷または他人の財物を損壊させた場合 ・日本国内で電車等を運行不能にさせ、法律上の損害賠償責任を負担した場合
補償金額	最大1億円

拡充	地域包括ケアシステムの充実(予算額 735,320千円)	地域包括支援センター 支援業務始め 5 業務合算 福祉部長寿課地域包括 ケア推進係(23 - 6774)
財源内訳	国県支出金 423,704千円、保険料 143,784千円、繰入金 165,472千円、一般財源 2,360千円	
支出内訳	介護保険特別会計 3款3項1目 包括的支援事業等諸費 / 地域包括支援センター支援業務: 消耗品費 412千円、印刷製本費 432千円、通信運搬費 13,923千円、地域支援事業委託料 541,441千円、包括支援システム設置委託料 1,816千円、機器賃借料 2,882千円 在宅医療介護連携業務: 委員報酬 256千円、費用弁償 19千円、食糧費 6千円、在宅医療介護連携委託料 46,747千円、岡崎市幸田町保健・医療・福祉ネットワーク協議会負担金 2,360千円 生活支援体制整備業務: 委員報酬 264千円、講師等報償金 49千円、費用弁償 14千円、食糧費 5千円、生活支援体制整備委託料 60,606千円 認知症施策推進業務: 講師等報償金 25千円、特別旅費 5千円、費用弁償 244千円、消耗品費 279千円、印刷製本費 396千円、認知症地域支援推進委託料 26,462千円、認知症初期集中支援委託料 5,098千円、認知症予防講座開催委託料 300千円、認知症普及啓発委託料 27千円、認知症カフェ運営費補助金 400千円、認知症施策推進研修負担金 998千円 地域ケア会議推進業務: 地域ケア会議推進委託料 29,854千円	

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域の中で、必要に応じて、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みです。

在宅医療介護連携業務

在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進しています。

生活支援体制整備業務

生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働によるサービスや資源開発等を推進しています。



地域包括支援センター支援業務

地域包括支援センターにおいて、地域の高齢者等の総合相談、権利擁護事業等の業務が適切に運営され、高齢者等が地域で安心してその人らしい暮らしを継続できるよう地域包括支援センターの運営を支援します。果たすべき役割の増大に伴い、予算を増額するとともに、岡崎市民病院に包括支援センターを設置します。

認知症施策推進業務

認知症の人ができる限り住み慣れたよい環境で暮らし続けることができるよう、地域包括支援センターへの認知症地域支援推進員配置、認知症初期集中支援チームの設置、認知症カフェの運営支援を行っています。

地域ケア会議推進業務

地域包括支援センターを中心に多職種の協働による個別ケースの支援を通じ、地域支援ネットワークの構築、高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援、地域課題の把握を行っています。

【病院事業】地域医療体制の充実(予算額 1,445,754千円)

岡崎市民病院総務課
経営管理係(66 - 7015)

財源内訳 一般会計負担金 86,902千円、企業債 346,000千円、県補助金 250千円、県負担金 373,270千円、自己財源 639,332千円

支出内訳 資本的支出 1款1項1目 建設改良費 / 委託料 46,816千円、工事請負費 846,255千円、1款1項2目 資産購入費 / 器械備品購入費 552,683千円

岡崎市病院事業は、岡崎市立愛知病院を経営統合し2年目の年になります。

岡崎市民病院は、救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院として医療水準の確保及び多様化高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図ります。

PET - CT検査装置稼働

令和2年4月から

がん診療
の強化

乳腺外科外来診療を
岡崎市民病院へ移行
令和2年5月から

手術支援ロボット
(ダヴィンチ)運用開始
令和2年6月予定

身体的負担
の軽減

がん検査に威力を発揮するPET - CT検査装置が稼働します。

市立愛知病院で行っている乳腺外科外来が**岡崎市民病院へ移行します。**

手術における患者様の身体的な負担が軽減される手術支援ロボット(ダヴィンチ)の**運用を開始します。**

医療機器の整備・充実 (予算額 552,683千円)

乳腺外科外来で使用するデジタルマンモグラフィシステムほか最新機器を導入し、市民に高度な医療を提供できる病院として、信頼に添えていきます。

施設の改修及び設備更新 (予算額 893,071千円)

令和2年度から3年度にかけ結核・感染症病床の改修工事を愛知県負担により行います。平成10年度に移転新築して20年以上が経過し、更新時期を迎えた施設や設備を計画的に順次更新するため、中央監視室・防災センター監視装置更新工事や空調熱源改修工事(第3期)などの工事を行います。



拡充	子ども食堂支援業務 〔予算額 3,396千円〕	こども部家庭児童課 母子父子支援係(23 - 6749)
財源内訳	一般財源 3,396千円	
支出内訳	3款3項1目 児童福祉総務費 / 子ども食堂支援委託料 3,396千円	

地域の子ども食堂に関する活動を支援するための相談窓口を委託します。

（委託先：社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会）

- ・地域力強化推進事業（地域福祉課）で行う「居場所づくり」の支援から独立させ、「子ども食堂」の支援の見える化を図ります。
- ・相談窓口を社会福祉協議会に一本化するとともに、支援内容の充実を図ります。



支援の3本柱

立ち上げ支援

- ・既存の子ども食堂への見学調整
- ・補助金・助成金等の情報提供
- ・ボランティア団体等の情報提供
- ・衛生管理指導
- ・リスクマネジメント指導

継続支援

- ・食材寄附の協力依頼
- ・個人・企業からの寄附対応
- ・ボランティア希望者とのマッチング

新たな取組

子ども食堂のネットワーク構築

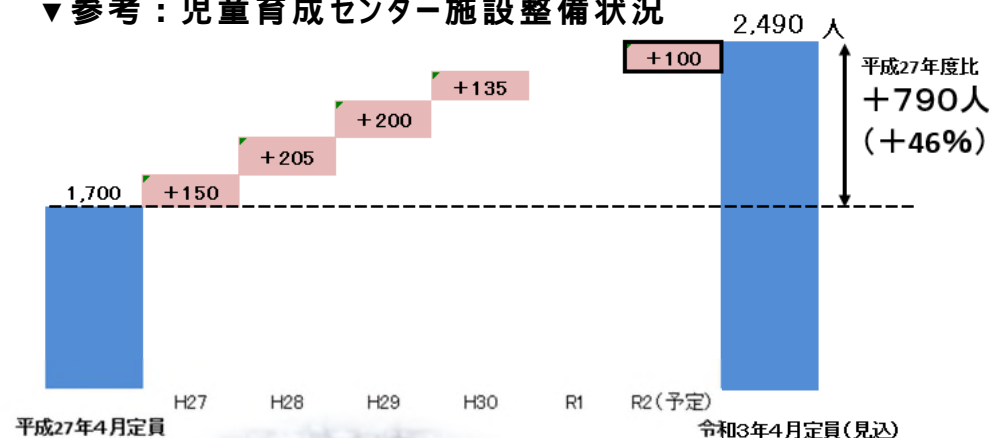
- ・子ども食堂間で連携できるよう組織化
- ・新規設立団体への加入促進
- ・相互協力できる体制づくり

拡充	放課後対策施設整備業務 (予算額 67,589千円)	こども部こども育成課 こども育成係(23 - 6221)
財源内訳	国庫支出金 24,893千円、県支出金 5,965千円、一般財源 36,731千円	
支出内訳	3款3項5目 放課後児童健全育成費 / 消耗品費 2,149千円、食糧費 2千円、医薬材料費 39千円、実施設計委託料 1,980千円、廃棄物処理委託料 37千円、施設整備工事請負費 63,377千円、水道分担金 5千円	

～留守家庭児童の放課後対策を推進するため、放課後児童クラブの整備を進めます～

拡充 大樹寺・城南学区に児童育成センターを**増設**します。

▼参考：児童育成センター施設整備状況



新規 小豆坂学区に放課後児童クラブを**新設**(定員50人)します。

(仮称)市営五本松住宅集会所内に放課後児童クラブを整備します。

(令和3年4月から公設民営を予定)



私立保育園等園舎建替等支援業務〔予算額 101,474千円〕		こども部保育課 保育企画係(23-7230)
財源内訳	国庫支出金 61,649千円、一般財源 39,825千円	
支出内訳	3款3項2目 児童措置費／私立保育園園舎建替等事業費補助金 101,474千円	

【業務概要】

私立保育園の健全な運営と園児の保育環境向上を図るために、園舎整備補助を行います。

◆私立保育園園舎建替等事業費補助

○みなみ保育園

計画概要・・・園舎の増改築に係る建設費等に対して補助します。

令和2年度 既存園舎の解体及び増改築工事

園舎増改築の概要

定 員	1 4 5 名（1 5 名増）
敷地面積	3, 0 5 7 m ²
建物構造	鉄骨造
延床面積	9 4 3 m ²



豊富保育園園舎建替業務 (予算額 169,839千円)		こども部保育課 総務施設係(23 - 6175)
財源内訳	市債 118,000千円、一般財源 51,839千円	
支出内訳	3款3項8目 保育園建設費 / 廃棄物処理委託料 495千円、家屋調査委託料 2,673千円、建物賃借料 1,261千円、園舎改築工事請負費 165,410千円	

【業務概要】

安全で快適な環境で保育を行うために、
老朽化が著しい豊富保育園の整備を進めます。

【豊富保育園の概要】

昭和51年 現在地に移転新築
園児数126名(平成31年4月1日現在)

【事業スケジュール】

令和元年度 新園舎実施設計、地質調査、アスベスト調査
令和2年度 園舎建替工事
令和3年度 園舎建替工事

【新園舎の概要】

建物構造 地上1階建て 木造
延床面積 1,610㎡程度
所要室等 乳児室3室、保育室5室、遊戯室、職員室、給食室、
便所、倉庫、園庭、屋外プール、駐車場
想定定員規模 170人

**令和3年10月
新園舎開園予定**



拡充	子ども医療助成業務 (予算額 1,970,333千円)	福祉部医療助成室 福祉医療係(23 - 6152)
財源内訳	県支出金 436,905千円、諸収入 147,828千円、一般財源 1,385,600千円	
支出内訳	3款3項1目 児童福祉総務費 / 特別旅費 7千円、消耗品費 126千円、印刷製本費 119千円、医療費審査支払手数料 27,839千円、第三者行為求償事務手数料 10千円、子ども医療扶助費 1,942,232千円	

子ども医療費の助成対象を 18 歳まで拡大します。 (入院分)

【現在の助成対象】

- ・ 0 ～ 15 歳 (中学校卒業まで) の
入院、通院に係る保険診療の自己負担分

	0 ～ 15 歳 (中学校卒業まで)
入院	無料
通院	無料



【令和2年9月から】

- ・ 16 ～ 18 歳 (高校卒業まで) の
入院に係る保険診療の自己負担分まで拡大

	0 ～ 15 歳 (中学校卒業まで)	16 ～ 18 歳 (高校卒業まで)
入院	無料	無料
通院	無料	-

子どもの健やかな成長を支援し、
子育て世代の経済的負担軽減を図ります！

